

Istanbul Weekly vol.5-no.29

イスタンブール ウィークリー

発行：在イスタンブール日本国総領事館 発行日：2016年9月2日（金）

— 今週のポイント —

- 政治：**アラ内務大臣が辞任、後任はソイル労働社会保障大臣。
戦勝記念日式典、戦車や戦闘機の登場なし。
- 経済：**トルコ・EU 関税同盟更新の交渉、2017年までに開始。
トルコへの訪問客数、急落。
- 治安：**クルチダルオール CHP 党首が襲撃される。
シュルナック県で PKK が機動隊基地への自動車爆弾攻撃。
- 軍事：**北シリアでトルコ軍・FSA と PYD との戦闘発生。
- 社会：**イスタンブールで食品関連イベントが目白押し。
9月1日に漁が解禁、今シーズンは豊漁か。

政治

【内政】

●エルドアン大統領、ガジアンテップを訪問

8月28日、エルドアン大統領は、ガジアンテップでの自爆テロ後初めて同地を訪問し、県知事等から同自爆テロ事件に関する説明を受けた後、市街地の中心部での集会に参加した。同大統領は、「我々の国境付近では、いかなるテロ組織にも容赦はしない」と述べつつ、ISIL、PYD との闘いの必要性を強調した。なお、同日、エルドアン大統領は、2014年の就任から2周年を迎えた。（8月29日付M紙14面）

●アラ内務大臣が辞任、後任はソイル労働社会保障大臣

8月31日、ユルドゥルム首相は、エルドアン大統領との予定外の会談を実施した後、記者団に対し、アラ内務大臣が辞任したことを発表した。7月15日のクーデタ未遂事件での采配を含め、治安面での一連の対応が不十分だったため更迭されたと推察されている。後任にはソイル労働社会保障大臣が横滑りで就任し、新たな労働社会保障大臣には、ミュエジジンオール前保健大臣・AKP 副党首が就任した。（9月1日付H紙1面）

●新司法年度開幕式典が大統領官邸で開催、CHP 等は欠席

1日、大統領官邸において、2016年の新司法年度の開幕式典が開催された。例年はホテルで開催されていたものの、式典会場が大統領官邸になったことから CHP やトルコ弁護士協会は司法の独立性に対する懸念を表明、同式典を欠席した。（9月1日付M紙インターネット版他）

●戦勝記念日式典、戦車や戦闘機の登場なし

8月30日の戦勝記念日記念式典が各地で開催された。アンカラ及びイスタンブールでの記念イベントでは、7月15日のクーデタ未遂事件を想起させるとして、毎年行われていた戦車や戦闘機を用いたパフォーマンスは行われなかつ

た。エルドアン大統領は、ユルドゥルム首相、アカル参謀総長らとともに、厳戒態勢下のアタテュルク廟を訪問した。他方で、イスタンブールでは、県知事主催のレセプションは治安上の理由等で中止された。（8月31日付S紙22面他）

【外交】

●バーレーン国王が訪問、ユルドゥルム首相と会談

8月28日、バーレーンのハリーフア国王がイスタンブールを訪問し、チュラーンパレス・ホテルで、ユルドゥルム首相と会談した。同会談では、ユルドゥルム首相が、クーデタ未遂事件でバーレーンが示した連帯に対する感謝の意が述べられるとともに、二国間関係を中心に協議が行われ、防衛産業を始めあらゆる分野で関係強化を図っていくことが確認された。（8月29日付S紙14面）

経済

【マクロ経済】

●経済信頼感指数、下落

8月の経済信頼感指数は前月比24.1%低下し72.7。サービス業、小売業、建設業及び製造業における各信頼感指数の低下が影響した。（8月29日付AA紙インターネット版他）

●7月の貿易赤字、縮小

1-7月の貿易赤字は前年同期比18.9%減少し328億ドル。原油価格安とEUへの輸出額の回復が要因。7月の輸出額は前年同月比11.5%減の98億ドル、輸入額は同20%減の146億ドルで、貿易赤字は同32.5%減少し48億ドル。（9月1日付HDN紙10面）

【経済政策】

●新年金システム、2017年までに発効

新たな年金プラン（BES）が2017年1月までに発効する予

定。45 歳未満のすべてのトルコ人労働者が自動的に加入となり、これにより今後 10 年間で年金加入者数は 670 万人となる見込み。同プランへの加入を希望しない労働者は 2 か月後に脱退し、後日掛金の払い戻しを受けることもできる。(8 月 26 日付 HDN 紙 10 面)

●トルコ・EU 関税同盟更新の交渉、2017 年までに開始

ゼイベキジ経済相は、EU との関税同盟の更新に関する公式の交渉を遅くとも 2017 年はじめまでに開始すると述べた。同大臣によると、関税同盟の範囲を農産品、サービス、政府調達分野にも拡大するとともに、トルコの環大西洋貿易投資パートナーシップ (TTIP) 協定への参加も論点となる見込み。(8 月 30 日付 DAILY SABAH 紙インターネット版)

【エネルギー関連】

●上半期の電力輸入量、46%減少

上半期のトルコの電力輸入量は、前年同期比 46%減少し 18 億 9000 万キロワット。電力輸入のために支払った額は、同 61%減少し 8900 万ドルであった。政府が、エネルギーの外国への依存を減らすべく国内のエネルギー源や再生可能エネルギーの開発に取り組んだことが影響した。(8 月 25 日付 DAILY SABAH 紙インターネット版)

【観光関連】

●ロシア、トルコへのチャーター便禁止を解除

8 月 28 日、ロシアのメドヴェージェフ首相はトルコへのチャーター便運航禁止の解除に関する決定に署名した。トルコ観光業界関係者は、今回の禁止解除により、業界全体の損失の 15%を回復できると期待する。(8 月 29 日付 HDN 紙 1、10 面)

●イスタンブールのホテル稼働率、急落

トルコ・ホテル経営者・投資家連合 (TUROB) によると、7 月のトルコのホテル稼働率は前年同月比 34%減少し 42%。イスタンブールにおいては、同 40%減少し 37%となった。イスタンブールの 1 泊当たり平均室料は、89 ユーロ (前年同月は 130 ユーロ)。(8 月 31 日付 HDN 紙 10 面)

●トルコへの訪問客数、急落

1-7 月のトルコ訪問客数は前年同月比 30.3%下落し 1420 万人。ロシアの経済制裁、テロ、クーデター未遂事件が影響。欧州各国からの訪問客数は平均 40%減少した。7 月単月の訪問客数は前年同月比 36.7%減少し 350 万人。(9 月 1 日付 HDN 紙 10 面)

【企業等の動き】

●アルチェリック、有機発光ダイオードテレビの生産開始
家電大手アルチェリックは、トルコ製の有機発光ダイオードテレビを生産を開始する。9 月に発表予定。(8 月 26 日付 DAILY SABAH 紙インターネット版)

●ドウシュ・ホールディング、港のプロジェクトに着手

ドウシュ・ホールディングは、国内 6 銀行から 11 億 4000 万ドルの融資を受け、イスタンブールのガラタ地区付近にクルーズ船専用の港を建設する。同社は 15 億ドルを投資し、2018 年第 4 四半期の完成を目指す。同社によると、ペニンシュラホテルが 1 億 7000 万ドルを投資する予定。(9 月 1 日付 HDN 紙 11 面)

【イスタンブール関連】

●ボスポラス第 3 大橋、開通

8 月 26 日、ヤヴズ・スルタン・セリム橋 (ボスポラス第 3 大橋) の開通式典が行われ、エルドアン大統領、ユルドゥム首相らが出席した。同橋は 8 車線、2 本の線路を持ち、幅 59m、長さ 1.4 km で線路がある吊り橋としては世界最長。政府は 1 日あたり 13 万 5000 台の車両の通行料を建設企業側に保証する。(8 月 26 日付 HDN 紙インターネット版)



(写真は 8 月 26 日付 C 紙インターネット版から)

治安

●クルチダルオール CHP 党首が襲撃される

8 月 25 日、アルトヴィン県を訪問中の C クルチダルオール CHP 党首の車列に対して、PKK 戦闘員が 2 度にわたって襲撃を行い、ジャンダルマ (軍警察) の兵士 1 名が死亡し、2 名の兵士が負傷した。同党首は、最初の襲撃の後、現場から避難し無事であった。(9 月 1 日付 HDN 紙 1 面)



(写真は 9 月 1 日付 T 紙インターネット版から)

●女性警察官のスカーフ着用が解禁

(1) 女性警察官のスカーフ着用が解禁となった。

2013 年に AKP 政権は、一般公務員のスカーフ着用を解禁したが、治安機関員、裁判官、検察官、軍人については、解禁されていなかった。一方、CHP は、警察官のスカーフ着用解禁は警察の公平性の原則に反すると批判した。

(8 月 29 日付 HDN 紙 1 面)

(2) 8 月 30 日、戦勝記念式典が行われたタクシム広場に、イスタンブール県警の女性幹部がスカーフ姿で現れた。公的な場で初めてスカーフを着用した女性警察官となった。

(8 月 31 日付 HDN 紙 4 面)



(写真は 8 月 31 日付 HDN 紙インターネット版から)

●水道水の有害物質の混入で 5000 人が病院へ

8 月 27 日、カフラマンムラシュ県エルビスタン郡において、水道水を飲んだことによるとされる発熱等の体調不良により約 5000 人が病院に運ばれた。原因については調査中であるが、水道管からの有害物質の混入の疑いも視野に入れて捜査が行われている。(9 月 1 日付 HT 紙 2 面)

●PKK 攻撃関連

(1)8月26日早朝、南東部シュルナック県ジズレにおいて、機動隊基地から約50メートル離れた警察検問ポイントで自動車爆弾が爆発した。この爆発により、機動隊施設が全壊し、警察官8名が死亡、45名が負傷した。(8月26日付HDN紙インターネット版)



(写真は8月26日付ハズパルトットムから)

(2)8月27日深夜、ディヤルバクル県のディヤルバクル空港において、VIPラウンジ棟の外の警察チェックポイントに対して、4発のロケットが打ち込まれた。死傷者はなく、フライトに影響もなかった。(8月29日付HDN紙3面)

(3)8月28日、ハッカリ県において、高速道路上にPKKが設置した路肩爆弾を兵士が処理しようとしていたところ爆発した。兵士1名が死亡、3名が負傷した。(8月29日付HDN紙3面)

●元イスタンブール県警本部長がギュレン派関係者の疑いで拘束

8月30日、フセイン・チャプクン元イスタンブール県警本部長が、イズミル県チェシメにある自宅で拘束され、イスタンブール県警本部へ移送された。チャプクン元県警本部長は、逮捕された元イスタンブール県知事の証言によって拘束されたという。(8月31日付HT紙16面)

●アタテュルク空港に車両用X線検査装置が導入へ

イスタンブールのアタテュルク国際空港の車両入場ゲートに車両用X線検査装置が導入されることになった。現在設置の準備が進められており、車両内に隠匿されている武器や爆発物の探知に効果を発揮することが期待されている。(9月1日付M紙インターネット版)(写真同)



【ISIL 関係】

●コンヤ県で ISIL 関係者 40 名が拘束

8月26日、コンヤ県及びアダナ県において、警察による対ISILオペレーションが行われ、計40名のISIL関係者が拘束され、関係書類等が押収された。(9月1日付HDN紙インターネット版)

●ガジアンテップで対 ISIL オペレーション

1日、ガジアンテップ県の中心部で対ISILオペレーションが行われ、ISILのトルコリーダーとも言われ、捜索中に自爆したユフス・ユルマズの妹を含む合計3名が拘束された。このオペレーションにより、TNT火薬20キロ、自爆ベスト

8着、手榴弾3個、グロック拳銃1丁が押収された。(9月1日付H紙インターネット版)(写真同)



●ISIL 摘発状況発表

8月31日、アラ内相は、「トルコ治安当局は、2016年初頭から現在までにISIL関係者865人を逮捕した。逮捕者のうち、476人が外国人。拘束したISIL関係者は2174人、そのうち973人が外国人。また、トルコへの来訪者のうち、ISILと関係が疑われる5万2075人に対して入国を禁止し、3790人を国外退去させた。」「これまで数年にわたる摘発により、ISIL関係者5800人を拘束し、うち2200人が外国人であった。」と述べた。(9月1日付M紙インターネット版)

軍事

●「ユーフラテス・シールド・オペレーション」に関する国防相発言

自由シリア軍とトルコ軍が、北シリアのIS支配都市ジャラーブルスを解放した、ユーフラテス・シールド・オペレーション(「ユーフラテスの盾作戦」)に関して、ウシュク国防大臣は、「ジャラーブルスは、昨日、我々が占領した。作戦はFSA(自由シリア軍)によって行われ、トルコ軍に負傷者はなく、FSAは、2名が死亡、2名が負傷した。」「このオペレーションの目的はISILを完全に排除することと、同地域からPYD/YPGのプレゼンスを防ぐことである。このオペレーションは、米、ロシア、イランに対して事前に通報済みである。」など述べた。また、「PYDは、ジャラーブルスの東側にクルド支配地域を設置することを望んでいるが、我々はこれを絶対に許容しない。ISILを排除した後にはPYDが、ISILの代わりとなってはならない。PYDはユーフラテス川東岸に撤退せねばならない」などと発言。(8月26日付HT紙15面)

●YPG がトルコ軍を攻撃

8月27日、北シリアのジャラーブルス南方約7キロの地点にいたトルコ軍戦車2両に対するYPGの攻撃により、トルコ軍兵士1名が死亡、3名が負傷した。24日にトルコ軍の作戦が開始されてから初のトルコ軍の死者となった。(8月27日付HDN紙インターネット版)

●トルコ軍が YPG を攻撃

8月28日、トルコ軍は、前日にYPGによる攻撃でトルコ軍兵士1名が死亡したことを受けて、YPGを空爆及び砲撃により攻撃し、「25名のテロリストを殺害した」と発表した。一方、英国に本拠を置くシリア人権監視団は、「トルコ軍の砲撃で市民が40名死亡した。」と発表した。(8月29日付HDN紙9面)

●エルドアン大統領「YPG 排除まで戦い続ける」

28日、チャヴシュオール外相は、「YPGがユーフラテス川東岸に撤退しない限り、ターゲットとなり続けるだろう。YPG自身が宣言し、米国が約束したとおり、YPGは速やかにISILを駆逐したマンビジから撤退し、ユーフラテス川東岸に移動しなければいけない。」と述べた。(8月29日付

HDN 紙インターネット版)

●米軍がISILに攻撃されたFSAを支援せず？

FSA(自由シリア軍)関係者によれば、8月30日、ISILによって攻撃されたトルコ軍とFSA(自由シリア軍)に対して、米国へ航空機による空爆支援を依頼したが、米軍は空爆支援を行わなかったという。8月30日午後7時頃、ジャラールス西方にあるクッリヤー村に配置されていたトルコ軍の戦車に対して、ISIL 戦闘員によって、多方向からの機銃掃射とロケット弾による攻撃が行われ、トルコ軍兵士3名が負傷した。トルコ軍のリエゾンが、空中待機していた米軍機による空爆援護を要請したところ、航空機による空爆援護が約束されていたにもかかわらず、米軍側はいくつかの言い訳を述べて空爆を実施しなかったという。(9月1日付HT紙10面)

●空軍がパイロット300名採用計画

国防省の発表によると、約300名のパイロットが民間パイロット養成課程から、雇用されるという。候補者が試験に合格し、パイロットになった場合、一定期間、軍務に就くことが義務とされる。試験の結果パイロットとしては採用されなかった者も、空軍兵士として3年の試用期間を終えた後、最低10年の軍務につく。FETOやISIL等の関係者が親族にいないことが条件となっている。本年9月18日まで募集がなされる。(9月1日付M紙インターネット版)

社会

●イスタンブールのタクシー料金値上げか

市交通コーディネーションセンター(UKOME)は25日に実施された会議で、イスタンブール・タクシー協会の設定運賃に15%の値上げを行う事を要求した。これによりタクシーの初乗り料金は3.2リラから3.45リラへ、キロメートル毎の追加料金は2リラから2.1リラに値上げされる予定で、最終的な合意締結後、新料金が運用されることになる。(8月26日付HT紙26面他)

●9月はイスタンブールで食品関連イベントが目白押し

イスタンブールでは、9月に多くの食品関連イベントが開催される。9月24日から10月8日にかけて、シャングリラホテル内の「IST T00」レストランでガジアンテップ・フェアが、9月25日には、カドゥキョイ埠頭横のハイダルパシャ駅内でピザ・フェアが、9月23日から9月25日にかけてシルケジ駅内ではスパゲティ・フェア等が開催される予定。

(8月31日付Daily Sabah 紙インターネット版他)



(写真は8月31日付Daily Sabah 紙インターネット版から)

●漁が解禁、今シーズンは豊漁か

9月1日、トルコで漁が解禁された。イスタンブール水産物輸出協会会長によると、黒海地方では様々な大きさの鰹が確認されている一方、マルマラ海では多くの鰯が、沿岸では小型船の網にアジ等の魚が確認されている。昨年は収穫量が十分でなかったが、2016-2017年の今シーズンは豊

漁が期待されている。(9月1日付H紙17面他)

●第3大橋を通行しない大型車両に92リラの罰金

ヤヴズ・スルタン・セリム橋(ボスポラス第3大橋)開通後、トラックや長距離バスなどの大型車両による第2大橋の通行が禁じられた。一方で、国道TEMから第2大橋を通行しようとする大型車両が後を絶たず、警察による取り締まりが強化されている。違反車両には92リラの罰金が徴収される。(9月1日付HT紙17面他)

注：本文中の略語の正式名称は以下の通りです。

略語	正式名称	略語	正式名称
AFAD	首相府緊急災害事態対応総局	ÖSB	PKKの防衛隊
AKP	公正発展党（現与党）	OIB	首相府民営化管理庁
BDDK	銀行監督庁	PKK	クルディスタン労働党
BDP	平和民主主義党（クルド政党）	PYD	シリア民主主義連合党
BOT	建設・運営・譲渡方式	RP	福祉党
CHP	共和人民党（最大野党）	RTÜK	ラジオ・テレビ高等機構
DEP	民主党	SNC	シリア国民評議会
DHKP/C	革命人民解放党/戦線	SPK	証券取引監査院
DHMI	国家航空局	SSM	防衛産業庁
DISK	先進労働組合連合	TBB	トルコ弁護士協会／トルコ銀行協会
DTK	民主主義社会評議会	TCDD	トルコ国鉄
DTP	民主社会党	TDHB	トルコ歯科医師会
DYP	正道党	TESK	トルコ商工業連合
EDAM	経済外交政策センター	THY	ターキッシュ・エアラインズ
EPDK	エネルギー市場監督庁	TİKKO	トルコ労働者・農民解放軍
HDP	人民民主党（クルド政党）	TMMOB	トルコ・エンジニア・建築会議連盟
HSYK	裁判官・検事高等委員会	TOKİ	トルコ集合住宅開発局
İDO	イスタンブール海上フェリー会社	TOMA	放水装甲車
İHH	人権・自由・人道支援団体	TPAO	トルコ石油公団
İKSV	イスタンブール文化芸術財団	TTB	トルコ医師会
İSO	イスタンブール産業会議所	TÜBİTAK	トルコ科学技術研究機構
İşİD	イラク・レバントのイスラム国（アルカイダ系）	TÜİK	トルコ統計庁
İTO	イスタンブール商工会議所	TÜPRAS	トルコ石油精製会社
KCK	クルディスタン共同体同盟（PKK系）	TÜSIAD	トルコ産業・実業家協会
KESK	公務員労働組合連合	TÜYİD	トルコ投資家関係協会
KRG	北イラク政府	YÖK	トルコ高等教育評議会
MHP	民族主義者行動党（野党）	YSK	選挙高等委員会
MİT	国家諜報機関		

注：本文中のニュースソースの略称は以下の通りです。

トルコ語新聞		英字新聞		通信社	
Akşam	A	Economist	EC	Anadolu News Agency	AA
Cumhuriyet	C	International New York Times	INYT	Agence France Presse	AFP
Habertürk	HT	Hürriyet Daily News	HDN	Ghan News Agency	CA
Hürriyet	H	Today's Zaman	TZ	Doğan News Agency	DA
Milliyet	M			İhlas News Agency	IA
Posta	P			Interpress	IP
Radikal	R				
Sabah	S				
Taraf	T				
Vatan	V				
Zaman	Z				

在イスタンブール日本国総領事館

電話：0212-317-4600、FAX：0212-317-4604、E-Mail：istanbulweekly@it.mofa.go.jp

WEB：http://www.istanbul.tr.emb-japan.go.jp/index_j.html

Facebook：http://www.facebook.com/Japonya.Istanbul.Baskonsoloslugu

●トルコに90日以上滞在される方は総領事館に在留届を提出願います。

●新たに配信希望される方、あるいは今後の配信を希望されない方は、以下のメールアドレスにご連絡ください。

istanbulweekly@it.mofa.go.jp

イスタンブール邦人被害統計								
2016.1.1～2016.9.1 ※総領事館に訴出があったものを集計								
年	窃盗		詐欺		ぼったくりバー		高額絨毯購入(相談)	
	今週	通算	今週	通算	今週	通算	今週	通算
2015年		8件		6件		20件		9件
2016年	0件	5件	0件	2件	0件	16件	0件	2件

●今週の被害の届けはありませんでした。

★当館 HP 更新のお知らせ★

●治安速報：トルコの対 ISIL 空爆への参加(08/24) **NEW**

●治安速報：ガジアンテップ県の結婚式で自爆テロ(08/21)

●【危険情報】トルコ（アンカラ中心部及びエセンボア空港に「レベル1：十分注意してください。」の危険情報を新規発出）(08/18) **NEW**